

クレイアニメを作ろう（映像メディアの表現）

1 この授業でつきたい力（題材の目標）

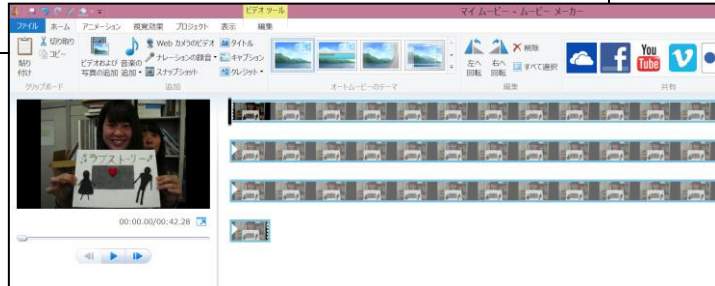
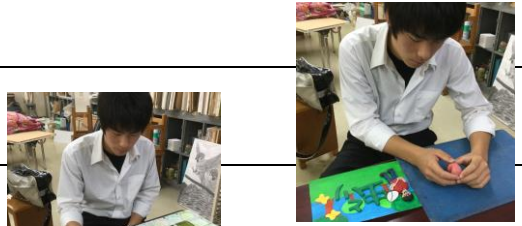
メディアを活用した表現に関心を持ち、意図に応じて創意工夫をした作品制作をするとともに、他の生徒の作品から作者の意図と表現の工夫を感じ取り、メディアの活用能力と理解を深める。

2 材料 カラー油粘土（PLASTALINA）6色（白、黒、緑、赤、青、黄色）

粘土ヘラ、粘土板、画用紙、ポスターカラー、スマートフォン、ムービーメーカー

3 展開（計 18 時間）

展開	主な内容	時間数
導入	クレイアニメについて	1 時間
展開	① 4コマ漫画の作成(アイデアスケッチ) 故事成語・ことわざなどをもとに 4コマ漫画を作る。	1 時間
	②キャラクター設定 粘土でキャラクター作り。	4 時間
	③背景作成 起承転結となる場面をつくる。	4 時間
	④写真撮影 逆送りやズームなどの効果も考える。	6 時間
	⑤アニメーション制作 パソコンで写真の整理をする。 ムービーメーカー利用	1 時間
鑑賞	⑥鑑賞 プロジェクターで鑑賞会 ワークシートの提出	1 時間



カメラを逆回転させているアイデアが面白かった。

もう少し工夫すればよかった。自分の手を入れたりしているのがよい。

4 観点別評価(学習活動に即した評価基準)

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> 感じ取ったことや考えたことをもとに映像メディアの特性を生かして表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、表現効果や伝達効果を考えながら工夫して構想を練ろうとしている。 映像メディア機器等の様々な用具の特性やそれらの効果を主体的に生かし、表現方法や編集を工夫して表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 映像メディアの特性を踏まえ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に主題を生成している。 主題を表現するために映像表現のもつ視覚的要素について理解し、表現効果や伝達効果を考え、工夫して表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 映像メディア機器等の様々な用具の特性を理解し、意図に応じてそれらの効果を生かして表現している。 映像メディア機器等の様々な特性を生かし、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。